

宗教の壁を超えた「世界平和」の祈り



神職・僧侶の行列参進

「世界平和祈願祭」は、平成17年（2005年）から毎年春に開催されています。島根県東部と鳥取県西部の20の神社・仏閣が、神仏や宗派を超えて連携し、「ご縁」を尊ぶ心、「和」の大切さを発信することを趣旨として設立された、出雲の国「杜寺縁座の会」の主催によるもの。



ズットナー胸像と和服の屏風と舞殿

4月24日、出雲国一の宮・熊野大社で「第12回出雲国神仏霊場合同祭事 世界平和祈願祭」が行われました。熊野大社のある松江市八雲町は、2014年8月1日「水の日」に、日中戦争の激戦地・中国山東省で作られた周藤彌兵衛翁の大銅像が建立されている地です。祭事では世界平和にあわせて、熊本・大分地震の犠牲者追悼と地震の収束被災者救援、早期復興も祈願されました。境内の舞殿前には、和服が描かれた屏風を背に、女性初のノーベル平和賞受賞者ベルタ・フォン・ズットナーの胸像が置かれ、参列者の注目を集めていました。

世界平和祈願祭とズットナー像

午前10時、地元熊野地区の「わらく太鼓」奉納演奏で開始が告げられると、斎服姿の神職や袈裟姿の僧侶20名が行列参進し昇殿。始めに、熊本・大分地震の犠牲者を悼んで黙とうが捧げられました。気温は18度。薄曇りの空の下、杉木立と木々の新緑が濃淡の綾を成す境内は、小鳥のさえずりだけが耳に染みる静寂と厳粛な気に包まれます。

斎主の熊野大社・熊野高裕宮司の祝詞に続いて、平和への唱え言葉奉唱。この時、神社拝殿に僧侶の唱える般若心経が響き渡るという「神仏習合」の風景が広がりました。キリスト教の欧米を舞台に平和運動に生涯をかけたベルタ・フォン・ズットナーの胸像が、それをじつと見つめるように建っています。宗教の壁を超えた「世界平和」の祈りが満ちる瞬間でした。

宮司へ代読・出雲大主教・千家隆比古（ながひこ）管長Vが挨拶。「世界各地ではいまだ紛争やテロ事件などが絶えず、多くの尊い命が奪われる事態になっています。この流れを断ち切るのは互いの違いを認め合う共生と和議の心しかない」と確信しています」と述べました。



ズットナー像に注目する参列者

その後、巫女により「御幣帛舞（みてぐらまい）」が舞われ、玉串拝礼へと進み、祭事の結びに「杜寺縁座の会」名誉座長の出雲大社・千家尊祀（せんげたかまさ）

「世界平和祈願祭」は、開山1300年の大山寺（鳥取県大山町）で行われる予定とのこと



祭事出席の神職・僧侶と来賓

来年の「世界平和祈願祭」は、開山1300年の大山寺（鳥取県大山町）で行われる予定です。



リベリア少年に「国際子ども平和賞」子どもへの暴力根絶で功績

子どもたちの権利のために勇敢に闘う子どもを表彰している「国際子ども平和賞」（2015年度）を、リベリアのエイブラハム・M・ケイタさん（17）が受賞し、2015年11月9日、オランダ・ハーグで開かれた授賞式で、ノーベル平和賞受賞者であるレイマー・グボウィー氏から栄冠のトロフィーを授与されました。

西アフリカのリベリアは、2003年まで14年間続いた内戦で約25万人が死亡。人口の約80%が最低生活水準以下の生活をしており、オランダ・ライデン大学の報告によると、リベリアの子どもの約半数がなんらかの肉体的暴力を受けた経験があり、また女子の13%が性的虐待を受けているとのこと。

ケイタさんは、子どもたちを守る法律を制定するようリベリア議会にロビー活動を行い、またこの問題への注目を集めるためパレードやデモを組織しました。

国際子供平和賞は、オランダ「子供の人権協会」の創立者兼議長であるマルク・チュラエルト氏の創意によって生まれ、ミハイル・ゴルバチョフ元ソ連大統領が2005年にローマでノーベル平和賞受賞者世界サミットの議長を務めた際に創設されたもの。子どもの人権のために功績が顕著であった子どもに毎年授与されています。

2014年にノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさん（パキスタン）も、2013年にこの賞を受賞しています。



本年度国際子ども平和賞の受賞者リベリアのアブラハム・M・ケイタ（Abraham M. Keita）君。

ウィーン市を拠点に活動、1889年、世界的なベストセラーとなった反戦小説「武器を捨てよ」を発表しました。赤十字社を創設したジャン・アンリ・デュナン（スイス）の第1回受賞（1901年）の後、1905年、ズットナーは5人目のノーベル平和賞を女性として初めて受賞し、「平和運動の母」と呼ばれるようになりました。その肖像は、オーストリアの2ユーロ硬貨

業としてズットナー胸像の除幕式も行われていました。作者はガザ地区で戦災孤児の支援を行っていたオランダの芸術家イングリッド・ロレマさん。小松理事長は、躍動感に満ちた若き日のズットナー胸像としてズットナー胸像の除幕式



や、ドイツの記念切手に採用されています。オランダ・ハーグに、アンドリュルー・カーネギーが寄贈、ズットナーもデザインに関わった「平和宮」があります。国際司法裁判所など国際機関が多数入っている建物です。2013年9月、「平和宮」創設100周年の記念事業のひとつとして、「世界のフイランソロピスト100年間の20人」パネル展が開かれました。人間自然科学研究所の小松昭夫理事長も20人のひとり

に選ばれハーグを訪問。会場となったハーグ市庁舎広場では、パネル展と同時に、同じく記念式出雲から国内外に、次々と送り出されることを祈念して披露させていただきました。ズットナーの志が世界規模でよみがえり、恒久平和の流れが始まることを念じています」と述べています。

平和使節・ズットナー像を出雲から国内外に次々と

や、ドイツの記念切手に採用されています。

オランダ・ハーグに、アンドリュルー・カーネギーが寄贈、ズットナーもデザインに関わった「平和宮」があります。

像とロレマさんの人柄に感動し、カーネギー財団の同意を得て、2号像の制作をお願いしました。2号像は、ズットナー没後100年の2014年、ウィーン市初のズットナー像として、モーツァルトハウス近くの平和博物館中庭で半年間展示され、大きな反響を呼び、銅像建立の要望を受けました。その後、富山県高岡市に送られ、銅像が取られ、日本の伝統技術で修復、高岡市産の台座を組み合わせた2号像、そしてハーグでロレマさんが作られた3号像、高岡市で制作された4・5号像の4体が日本にあります。ロレマさんは高岡を訪れ、制作現場で指導されました。

（交易場 修）